

「FUTURE」カップ カレッジゴルフ日本選手権 決勝大会

◆ 競技規則 ◆

1. ゴルフ規則

本競技においては、2018 年度JGAゴルフ規則、及び下記競技規則を適用する。

2. プレーの条件

各部それぞれ 18 ホールズ・ストロークプレーの 2 日間競技。

※陰悪な気象条件その他で、適正なるプレーが不可能と判断した時はホール数を短縮することがある。

3. プレーオフについて

1 位が同位の時は、委員会が指定したホールよりサドンデス方式でプレーオフを行なう。

4. 競技委員会の裁定

競技委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について、この委員会の決定は最終である。

競技委員会の決定について、保護者等からの抗議及びその他のクレームは一切認めない。

5. 使用球の規格

(1)『公認球リストの条件・ゴルフ規則付I(c)1b』を適用する。

(2)ラウンド中に使用する球について『ワンボール条件・ゴルフ規則付I(c)1c』は適用しない。

6. ドライビングクラブ

プレーヤーがラウンド中に持ち運ぶドライビングクラブは、R&A ルールズ・リミテッドの発行する最新の適合ドライバーヘッドリストに名前が記載されているクラブヘッド(モデルやロフトによって識別される)を有していなければならない。この条件の違反は競技失格となる。

7. クラブフェースの溝

プレーヤーのクラブ(パターとドライバーを除く、ロフト 25° 以上のクラブ)は、溝とパンチマークの規格に適合していなければならない。この条件に違反するクラブでストロークすると競技失格。

8. 距離計測器

レーザー距離測定器及び GPS 距離測定器の使用を認める。

ただし、高低差機能がある場合はオフにしての使用すること。

9. 今競技の使用コース、ヤーデージ、ティマーク

学生男子の部: 黒マーク(7,178 ヤード、パー72)

学生女子の部: 白マーク(6,245 ヤード、パー72)

10. 乗用カートの使用について(競技者が運転又はリモコン操作をする)

キャディバッグをカートに載せてのプレーとする。また、選手自身もカートに乗車して移動することができる。

11. プレーの進行について

①1組目は 4 人組の場合ハーフ 2 時間 15 分以内で、3 人組の場合 2 時間 5 分以内でプレーをすること。

2 組目以降は前の組と 1 ホール以上間隔を空けないようにプレーすること。進行が遅い場合、競技委員がプレー時間を計測する旨を伝え不当に遅くしているプレーヤーを特定し、以下のペナルティを与える。

このペナルティは警告を受けたホールだけではなく、その日のラウンドの間は累積する。

・1 回目: 1 打罰、 ・2 回目: 2 打罰、 ・3 回目: 失格。

②パー3 のホールにおいて後続組がティーイング・グラウンドに到着しているときは、ボールをマークして取り除き、後続組に打たせること。ただし、前の組の間隔が開いているときはこの限りではない。

12. ホールとホール間での練習禁止

ラウンド中プレーを終了したグリーン上、及びその近くではいかなる練習ストロークも行ってはならない。

13. プレーの一時中断・再開について

陰悪な気象条件で競技を一時中断する場合は、放送で合図をするので、ボールにマークをして競技委員の指示に従うこと。競技の再開も同様とする。

◆ 競技特別規則 ◆

1. アウト・オブ・バウンズの境界は、白杭をもって標示する。
2. 修理地は、青杭、白線、またはその両方をもってその限界を標示する。
3. コース内の全ての池はラテラル・ウォーター・バザードとし赤杭、赤線をもってその限界を標示する。**ただし、NO.18のビーチバンカーにおいては、水際をもってその限界を標示する。**
4. コース内の樹木の支柱、舗装道路、カート道路、その他人工施設物(避難小屋等)は動かさない障害物とする。
5. 樹木保護のための巻物施設は樹木の一部とみなす。ただし、巻物施設に挟まった球は、罰なしにその真下の地点から1クラブレングス以内でかつホールに近づかない所にドロップすることができる。
6. 球が目的外のグリーン(カラーを含む)に止まった場合は、罰なし拾い上げ、グリーン外でホールに近づかず、球の止まっていた箇所に最も近い地点から1クラブレングス以内にドロップしなければいけない。
7. スルー・ザ・グリーンのどこでも球がその勢いで地面に自ら作った穴(ピッチ・マーク)に球がくい込んでいるときは、その球を罰なしに拾い上げてふき、ホールに近づかず、球の止まっていた地点にできるだけ近い所にドロップすることができる。
8. バンカー内の石は「動かせる障害物」とし、罰なしで取り除くことができる。
9. バンカー内の流水跡は、ホールに近づかないバンカー内に、罰なしで救済を受けることができる。
10. グリーン上ではパター以外のクラブの使用を禁止する。ただし、正当な理由(競技委員への確認が必要)でパターが使用できなくなった場合は除く。
11. 野生動物(猪、鹿、犬など)により荒らされた場所は、修理地とされていなくても修理地扱いとする。
12. 規則 18-2、18-3、20-1 は以下の通りに修正される。
プレーヤーの球がパッティンググリーン上にある場合、その球やボールマーカーがプレーヤーやパートナー、相手、またはそのいずれかのキャディーや携帯品によって偶然に動かされても罰はない。その球やボールマーカーは規則 18-2、18-3、そして規則 20-1 に規定されている通りにリプレースされなければならない。このローカルルールはプレーヤーの球やボールマーカーがパッティンググリーン上にあり、いかなる動きも偶然である場合にだけ適用する。
13. 当日掲示する競技規則の追加は、先に送付した競技規則よりも優先する。

◆ 競技注意事項 ◆

1. 練習は指定練習場で行ないスタート前は一人 20 球(有料:300 円)までとします。コインはマスター室で受け取ってください。打球練習場は午前 6 時 30 分オープン。
・【注意！】ドライバー・フェアウェイウッドを使用する場合はフラッグの左側へ打つように。
2. 競技者は、①ゴルフ場の服装規定、ルール・エチケットマナー及び本大会要項、競技規則を理解して出場すること。
②ルールブック、グリーンフォーク、及び目土袋を必ず持参し、コースのケアに努めること。
目土袋を持参しない選手は競技に出場させない場合もある。
③プレー中は必ず帽子を着用すること。
④プレー中の喫煙は禁止します。
⑤スタート時刻 10 分前には必ずティーイング・グラウンドに待機すること。
⑥ラウンド中は、部外者を近づけないよう十分注意すること。これを怠ると規則第 8 条により罰せられることがある。
3. 9 ホール終了後の打撃練習は禁止する。ただし、練習グリーンでのパッティング練習はすることができる。
【注意！】9 ホール終了後の待ち時間は正規のラウンド中となります。アドバイスをを受けたり、練習器具を使用することはできません。また、電子機器は使用方法によってはペナルティの対象になります。誤解を招く使用は避けてください。
4. ホールアウト後のパッティンググリーンの使用時間は当日確認すること。
5. 試合終了後の入浴は可能です。
使用した後はきれいにする・静かに利用するなどエチケット・マナーには十分気をつけるように。
6. 競技中は携帯電話の電源を切らなければならない。但し、ルール上のトラブルや体調が悪くなった場合の緊急時のみにゴルフ場、保護者に連絡することができる。
緊急連絡先: 競技について【090-3283-0453】もしくは【080-8319-1679】